

2024年度 9月 月例山行「宝永山」山行報告

山行委員 渡辺徹也 記

- ◆日程 2024年9月12日(木)
- ◆場所 宝永山(2,693m)
- ◆参加者 坂倉理恵(CL) 渡辺徹也(SL) 大野国光 萩原みか 磯崎佳奈
- ◆集合 7:00 入間市駅と飯能駅に各1台 計2台に分乗
- ◆コースタイム 富士宮口五合目駐車場 10:00 発→10:40 六合目宝永山荘
→11:00 第一火口縁→12:10 宝永山頂→12:30 馬の背→13:00 第一火口(昼食)
13:30→第一火口縁→13:50 第二火口縁→(樹林帯を通り)
→14:20 富士宮口五合目駐車場 *行程 約5時間(休憩含) 5.4km

◆行程概要

今回は、5名での山行となった。移動中の車中から見る富士山は、上部が雲の中に隠れ、眺めは期待できないのかと思われた。富士宮五合目登山口から上では、時々雲が切れるかもと淡い期待を抱き、登山開始。宝永山頂に向かう道中に見えたのは、富士山頂か定かではないが、上部の山肌の一部を見られた。

また、宝永第一火口と第二火口を通った時は、霧に囲まれ、火口の全容は見られなかったものの、一部を見られ、宝永火口の中にいる実感を味わえた。昼食は、風が穏やかな第一火口にベンチがあり、ゆっくりと摂った。



ここから登ります



宝永山頂



道標がしっかりしています



第一火口でお昼



宝永山へ向かう道：ザクザクとした足元で、富士山頂への登山道と似た感じ

行程の前半に少し雨が降り、雨具を一度着たが、汗が出始める前に雨が上がり脱ぐことができ、比較的楽な山行だった。富士山頂へ通じる登山口が閉鎖されて直ぐの日程で計画したので、交通規制を受けずに五合目駐車場に駐車でき、富士登山の喧騒には巻き込まれずに行くことができた。天気の良い日にまた訪れたい山である。



第一火口から馬の背方面を臨む

◆参加者の感想

【大野国光】

雨に降られなくて良かった。期待した富士山頂、相模湾等の眺望が、ガスでほとんど見られなかったことはちょっと残念でした。

【萩原みか】

宝永山は数年来の私の念願でした。膝を痛めてから、リハビリをして調子を見る今年の1つの目標で、とても楽しみにしていました。6合目雲海荘を過ぎ、宝永山を目指してまず第一火口へ下る。火口の底に居ると思うと不思議な気分。そこから、登りに苦戦して宝永山山頂になんとか辿り着いたが、雲に囲まれ残念。絶景とは行かなかったが時折の青空に恵まれた。さて、下りはもっと足が取られる。まだ下りに不安があるので、ストックを使ってもなかなか難しい。2回も見事な尻もちをついた。必死でも手足がバラバラで『ストックも三点支持で』とアドバイスをいただき、バランスと気持ちを立て直す。第二火口からは分岐して深い大自然の林道から無事下山。山行担当者とメンバーのおかげで魅力的な宝永山を満喫させていただきありがとうございます。

【磯崎佳奈】

足元グダグダの宝永山、楽しかったです。濃霧で絶景は見られませんでした。富士山を近くに感じることができました。あの滑り落ちる下山は結構楽しい！

【坂倉理恵 (CL)】

下界は9月の記録を更新するほどの猛暑と、爽やかな青空を仰いでいるにもかかわらず、中央道から見えた富士山は厚い雲の中でした。駐車場に到着した時、思わず「寒っ！」と声が出ました。皆さんに見て頂きたかった雲海や、間近に迫る富士山山頂は、霧が流れたほんの一瞬だけ。それでも雨風共にほぼ無い状態だったので贅沢は言えませんね。少人数で和気あいあいとした雰囲気の良い山行でした。良いメンバーに恵まれました。皆様ありがとうございます。